

タイで漢字を教えるための教室活動と活動目標

濱川祐紀代

1. はじめに

日本語教師であれば、漢字が「何かを読んで理解したり、何かを書いて伝えたりするために用いるものだ」ということを、ことばに出して確認はしないにしても、常識として認識しているのではないだろうか。つまり、日本語教師は、学習者が漢字が使えるようになることを目指し、指導していく必要がある。しかし、漢字を丸暗記して覚えようとする学習者、とにかく覚えさせたいと思う教師が多いのも事実である。もちろん、漢字を丸暗記して覚える方法は漢字学習には避けられず、また一定の効果も満足感もあるだろう。しかし、それだけでは使えるようにはならず、学習意欲を保ち続けることも難しい。これらの困難点は、漢字の授業に「漢字をどこでどのように使うのか」に焦点を当てた教室活動を取り入れることで、改善されていくのではないかと考える。そこで、本稿では参考になる教室活動として、2012年度第2回日本語教育セミナー(2013年3月14日・15日、於国際交流基金バンコク日本文化センター)で行ったワークショップの成果、すなわち、タイで日本語を教えている先生方と一緒に考えた漢字指導のための教室活動案を報告する。

2. 教室活動作成の手順

ワークショップでは、まず参加者がグループになり、グループで1つ、漢字指導のための教室活動を考え、ポスターを作成した。教室活動を考えるときには、使用場面、つまり「その漢字が必要になる場面」や「タイの学習者にとって役に立ちそうな場面」を意識するようにした。作成したポスターは会場の壁に貼って共有し、気に入った活動にシールを貼って投票を行った。教室活動作成の手順を整理すると次のようになる。

- ① グループに分かれる (1グループ3~4人程度)
- ② 「学習漢字」を決める (筆者が『Basic Kanji Book』の課ごとの漢字リストを短冊にしたものを用意。グループの代表者がくじ引きの要領で取り、学習漢字を決める。)
- ③ グループの人と、与えられた「学習漢字」がどのような場面で、何をするために使われるのかを考える (参考資料:「表1トピック」「図1活動目標」)
- ④ 上述の③をいかした教室活動を考える
- ⑤ 教室活動を考えたら、もう一度、その「学習漢字」を使って、何ができるようになるのかを確認し、トピックや活動目標を再検討する。(参考資料:「表1トピック」「図1活動目標」)
- ⑥ A3サイズの紙に③④⑤を記入し、ポスターを作成する (ポスター作成の目安として、「図2

フォーマット」を図示した。フォーマットの「グループ名」はグループの人と相談して決めた名前を、「トピック」は表1から選んだものを記入した。「活動目標」は図1を参考にして記述、「漢字」は②で与えられた「学習漢字」を記入した。）

- ⑦ 会場全体で共有できるように、作成したポスターを壁に貼る

表1 トピック⁽¹⁾

	トピック	トピックのキーワード
1	自分と家族	自分や家族に関すること（家族構成、身体的特徴など）
2	住まいと住環境	住居や住居地域に関すること（部屋、家具、周辺施設など）
3	自由時間と娯楽	余暇や趣味に関すること（スポーツ、映画、音楽など）
4	生活と人生	日常生活やライフステージに関すること（日課、入学、結婚、子育てなど）
5	仕事と職業	仕事と職業に関すること（企業、職種、職務）
6	旅行と交通	旅行と交通に関すること（旅程、公共交通機関、観光など）
7	健康	身体や健康に関すること（病気、通院、生活習慣など）
8	買い物	買い物に関すること（店、支払いなど）
9	食生活	食生活に関すること（飲食、レストラン、料理など）
10	自然と環境	自然や環境に関すること（天候、季節、環境問題など）
11	人とのつきあい	人づきあいに関すること（交際、トラブル、マナーなど）
12	学校と教育	教育機関や教育に関すること（学校、学習環境、教材など）
13	言語と文化	言語や文化に関すること（外国語、冠婚葬祭、伝統文化、ポップカルチャー、異文化体験など）
14	社会	社会に関すること（政治、産業、経済、国際関係など）
15	科学技術	科学技術に関すること（最新テクノロジー、サイエンス、メディアなど）

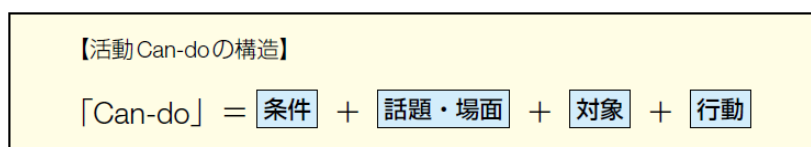


図1 活動目標⁽²⁾

表2 トピックと活動数

トピック・テーマ	活動数
1. 自分と家族	2
2. 住まいと住環境	3
3. 自由時間と娯楽	2
4. 生活と人生	4
5. 仕事と職業	0
6. 旅行と交通	12
7. 健康	1
8. 買い物	3
9. 食生活	1
10. 自然と環境	2
11. 人とのつきあい	3
12. 学校と教育	3
13. 言語と文化	2
14. 社会	1
15. 科学技術	0
16. その他	4
	43

The figure shows a vertical rectangular form with rounded corners. It contains five input fields stacked vertically. The first four fields are smaller and have rounded ends, while the fifth is larger and has rounded corners. The labels for these fields are: 'グループ名' (Group Name), 'トピック' (Topic), '活動目標' (Activity Objective), '漢字' (Kanji), and '活動手順' (Activity Procedure).

図2 フォーマット

3. 教室活動作成の結果

3.1 トピックごとの活動数

ワークショップの時間内に全部で43の教室活動が作成され、共有された。トピックごとの活動数は表2のとおりであった。活動数を見てみると、圧倒的に「旅行と交通」が多いことがわかる。次に多かったのは「生活と人生」「住まいと住環境」「買い物」「人との付き合い」「学校と教育」であった。

3.2 作成した教室活動案 (10例)

ワークショップ会場では、参加者に1人3枚ずつシールを配り、他のグループのポスターを見て回りながら、気に入った活動(ポスター)にシールを貼って投票するという共有方法をとった。本稿では、10以上のシールが貼られたもののうち10例を報告する。表3~12はポスターに書かれた内容を筆者が転記したものである。基本的にはポスターに書かれているものをそのまま転記しているが、読者に伝わるよう説明を加筆したものもある。実際に参加者の作成したポスター(成

果物) は図3~6を参考にしていきたい。

グループ名 くまちゃん
トピック 1 自分と家族
活動目標
あらゆる場面で、自分や他人の家族構成が理解し、表現できるようになる。
漢字 BKJvol.1 第15課 友父母兄弟姉妹夫婦彼主奥
活動手順
1. グループで好きなドラマ・アニメの人物相関図を1つ作る。
例)

2. 他のグループの相関図を見て、どのドラマ・アニメかあてる。

図3 成果物1

グループ名: WE ♡ 漢字
トピック: 1 (食生活)
活動目標:
レストランを評価し、友達に紹介できるようになる。
漢字: 良悪点正違同適当難次形味
活動手順:
① レストランの評価シートを教師が作成して、学習者に配布。
② 学習者はグループでレストランに行き、評価シートを作って評価する。
③ 評価結果を元に、レストランを紹介するポスターを作成する。

図4 成果物2

表3 「くまちゃん」の作成した教室活動 (図3参照)

トピック	自分と家族	得票	32
活動目標	あらゆる場面で、自分や他人の家族構成を理解したり、表現したりできるようになる		
漢字	友父母兄弟姉妹夫婦彼主奥 (『Basic Kanji Book』第15課)		
活動手順	①グループで好きなドラマ・アニメの人物相関図を1つ作る ②他のグループの相関図を見て、どのドラマ・アニメかあてる		

表4 「WE ♡ 漢字」の作成した教室活動 (図4参照)

トピック	食生活	得票	22
活動目標	レストランを評価し、友達に紹介できるようになる		
漢字	良悪点正違同適当難次形味 (『Basic Kanji Book』第28課)		
活動手順	①レストランの評価シートを教師が作成する ②学習者はグループでレストランに行き、評価シートを作って評価する。 ③評価結果を元に、レストランを紹介するポスターを作成する。		

	②漢字の読み方と意味をインプットする ③4～5人のグループを作る ④学習した漢字を用いて、店内の様子を再現する ⑤他のグループの作った店内の様子を見て、情報を得る (例：営業時間は？何割引？) ⑥他のグループの作った店について説明する
--	--

表7 「パンダ」の作成した教室活動

トピック	住まいと住環境	得票	15
活動目標	漢字で書かれた標示を見て、公園の規則や利用方法がわかる		
漢字	入出乗降着渡通走歩止動働 (『Basic Kanji Book』第17課)		
活動手順	①実際に公園の入り口で集合し、学生に入場券を渡す ②「公園の規則やできること／できないこと」について情報を収集するように伝える ③学生はグループになって、園内を見学しながら、情報を収集する ④見学後、「公園の規則やできること／できないこと」についてレポートにまとめ、発表する。 *公園の規則ではない場合は、学生たちが「できる／できない」と決めてよい *レポート例： <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 公園でできること／できないことを分けて書いてください。 1. できること a. _____ b. _____ c. _____ 2. できないこと a. _____ b. _____ c. _____ </div>		

表8 「季節」の作成した教室活動

トピック	自分と家族	得票	14
活動目標	自分や家族の特徴を表す漢字が読める		
漢字	元気有名親切便利不若早忙 (『Basic Kanji Book』第16課)		
活動手順	①漢字1文字ずつのカルタ(取り札)を作る ②家族の特徴を表す文(読み札)を作る (読み札の例:母は毎日忙しいです。父はとても若いです。 わたしのうちは駅から遠いから不便です。) ③カルタ1ラウンド→読み札の確認→カルタ2ラウンド ④多くカードを取った者が勝ち		

表9 「よかチカ㊦」の作成した教室活動

トピック	旅行と交通	得票	13								
活動目標	旅行のパンフレットが理解できる										
漢字	旅約案準備相談連絡泊特急 (『Basic Kanji Book』第31課)										
活動手順	①漢字を見て、場面を想像する ②旅行の「パンフレットA」(全員同じ物)を見て、①の漢字を含む言葉を抜き出す ③抜き出した言葉の意味を確認する ④旅行の「パンフレットB」(グループごとに異なる物)を見て、ワークシートに記入しながら内容を整理する *ワークシートに記入する項目: <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>①日時</td> <td>⑤準備する物</td> </tr> <tr> <td>②期間</td> <td>⑥連絡先</td> </tr> <tr> <td>③場所</td> <td>⑦注意事項</td> </tr> <tr> <td>④交通手段</td> <td>⑧宿泊先</td> </tr> </table> ⑤グループごとに、ワークシートに記入した内容を発表する			①日時	⑤準備する物	②期間	⑥連絡先	③場所	⑦注意事項	④交通手段	⑧宿泊先
①日時	⑤準備する物										
②期間	⑥連絡先										
③場所	⑦注意事項										
④交通手段	⑧宿泊先										

表10 「どろなわ」の作成した教室活動

トピック	人とのつきあい	得票	13
活動目標	日本国内の郵便の宛名を、漢字で書けるようになる		
漢字	市町村区都府県島京様 (『Basic Kanji Book』第20課)		

活動手順	<p>*学習者レベル：初級レベルの大学生を想定</p> <p>*用意するもの：日本地図、都道府県等の地名カード、ハガキ（学習対象漢字を空欄にしたもの）</p> <p style="text-align: right;">・ハガキの例→</p> <p>*活動：</p> <p>①ハガキに書かれている住所が日本地図のどこにあるか探す</p> <p>②ハガキの空欄に該当する漢字を入れさせる</p>	<p>〒130-0015</p> <p style="margin-left: 100px;">山田太郎（ ）</p> <p style="margin-left: 100px;">東京（ ）墨田（ ）</p> <p style="margin-left: 100px;">横綱一ノノ一</p>
------	--	---

表11 「東西南北」の作成した教室活動

トピック	旅行と交通	得票	11
活動目標	交通に関する漢字や単語を深く覚えらるる		
漢字	左右東西南北外内部駅社院（『Basic Kanji Book』第18課）		
活動手順	<p>①学生たちに地図を渡し、質問する（質問例：「これはどこの地図だと思いますか」など）</p> <p>②タイの地図を学生たちに見せる。または地図を見せずに学生のふるさとの地図を描かせる</p> <p>③地図を地方に分ける</p> <p>④先生が、ホワイトボードに貼った地図に、方角の漢字（東西南北）を貼る</p> <p>⑤漢字の書き順・読み方・意味を説明する</p> <p>⑥町や駅の写真を準備し、その中にあるサインを見せる（特に東西南北などの漢字が入っているものを準備する）</p> <p>⑦学生たちに自分の家の周りの地図を描かせ、学んだ漢字も書き入れさせる</p> <p>⑧学生たちの描いた地図をホワイトボードに貼って、学生同士で間違いを指摘しあったり、直させたりする</p>		

表12 「漢字大好き」の作成した教室活動

トピック	言語と文化	得票	10
活動目標	タイと日本の文化の違いに関するアンケートに答えることができる		
漢字	比較反対賛共直表現初（『Basic Kanji Book』第44課）		
活動手順	<p>*漢字の導入・練習が済んだ段階で、まとめの活動として行う</p> <p>① アンケートを準備する（未習の漢字にふり仮名をつけておく）</p>		

*アンケート例：

次の意見にみなさんは賛成ですか、反対ですか。

①初めて会った人に直接年齢を聞いても良い。 < >

②共通の話題がないとき、黙っていても良い。 < >

③タイ語と比較すると、日本語のあいさつ表現は
たくさんありすぎて覚えにくい。 < >

④ _____ < >

⑤ _____ < >

②アンケートを配付する

③アンケートの質問を2つ、自分で考えて書き足す

④実際にアンケートを行って、集計をし、結果を発表する

グループ名：ii-kamji ♡
 トピック：社会 ●
 活動目標：เรียนวัฒนธรรมของต่างชาติและค้นหา
 โดยการเรียนรู้คำศัพท์ที่ช่วยรูปภาพ
 漢字：
 政治 經濟 歴史 育化 理科 数医
 活動手順：1) ครูเตรียมบัตรคำโดยเขียนศัพท์จาก
 ดินจังหวัดที่ตนเอง จากรณี วรรณกรรม
 ในบัตรคำอีกชุดหนึ่ง
 2) แบ่งนักเรียนเป็น 2 กลุ่ม แจกบัตร
 กลุ่มละ 4 ชุด
 ในกรณีที่นักเรียนจำนวนมาก
 อาจใช้วิธีส่วตัวแทนหรือแบ่งภาค
 ก่อ 2 กลุ่ม
 3) ผลัดกันแสดงรูป และคำศัพท์
 แล้วนำคำที่ตนเอง ค้นพบพร้อมตัว
 อักษรออกเสียงคำศัพท์นั้นด้วย

図5 成果物3

グループ名：買い物しよう!!
 トピック：買い物
 活動目標：せいはわたしがいい。
 漢字： 第1課 第3課 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 百 千 万 円 年
 活動手順：
 1. ครูเขียนรูปของสินค้าที่ตัวเอง
 ใจใส่ลงในบัตร
 2. ครูแบ่งกับนักเรียนเป็น 2 คน 1 คน
 3. ครูให้นักเรียนเป็นผู้ที่พูด
 4. ครูถาม 100 บาท มีอะไรบ้าง

図6 成果物4

4. まとめ

4.1 漢字の使用場面を考えることについて

タイで日本語を指導している日本語教師が漢字指導のための教室活動を作成する場合、どこに難しさを感じただろうか。ワークショップの参加者から寄せられたコメントで多かったのは、与えられた漢字によって、漢字の使用場面が想像しやすかったりしにくかったりするということであった。また、トピックの中で「旅行と交通」が活動数の3割弱を占めたのは、教師も学習者も

場面を想像しやすいからだろう。実際に作られた活動を見てみると、地名や交通手段がタイのものになっており、「日本人観光客を相手に日本語を使う」「日本語の先生と一緒に出かける」という具体的なイメージができるものが多かった。

同じ漢字を目の前にしても、使用場面を思い浮かべられる人とそうでない人がいる。これはどのような違いだろうか。参加者に聞いてみたところ、日本で日本語教師をした経験のある人や日本に留学したり、日本で研修を受けたことのある人の場合、漢字の使用場面を想像することは比較的容易だったようである。このことは「日本語母語話者だから場面設定が容易である」ということを意味していない。実際、日本でも同様のワークショップを行うことがあるが、漢字の使用場面を想像するのが難しいという声は多い。うまく漢字の使用場面が想像できた参加者にさらに聞いてみたところ、「日本滞在中に文字に注目せざるをえなかった経験があり、その後標示などを意識して見るようになった」「文法や文字をどこでどう使うのか考えながら学ぶのが好きだ」という回答が多かった。その一方で、漢字の使用場面を考えるのが難しかった参加者からは「一人では思いつかないこともグループだから場面を設定できた」「仲間がいたから、より真実味を帯びた活動／より楽しめる活動が考えられた」というコメントもあった。

4.2 作成された教室活動について

ワークショップで作成された教室活動の多くは、学習者の興味・関心に応じたものになっていた。中でも、得票数の多かった「くまちゃん (表 3)」と「WE♡漢字 (表 4)」を取り上げ、ここにコメントを加えたい。

「くまちゃん」グループの与えられた学習漢字は、「友父母兄姉弟妹夫婦彼主奥」という家族関係を表す漢字であった。一般的に初級で家族関係を表す漢字を指導する場合、自己紹介シートの作成や、教師が作った架空の家族や教科書に描かれた家族の説明などを行うことが多い。しかし「くまちゃん」グループは、学習者が見聞きした情報を使って、自分たちで人物相関図を作るといった新しい視点で活動を考えているところが評価できる。また、別のグループの参加者から「タイの学習者はドラマが大好きだから、こういう活動なら意欲的に取り組めると思う」というコメントもあった。タイの先生ならではの観点で作成されている活動だと言えるだろう。

「WE♡漢字」グループの与えられた学習漢字は、「良悪点正違難」などであった。これらの漢字を与えられた場合、学生がテストや試験の結果を受け取る場面などを思い浮かべることが多いのではないだろうか。しかし、「WE♡漢字」グループは、学生が評価する立場に立つ場面を設定したところが評価できる。教室活動を通じて、学習者が自分なりの観点で評価し、その結果を日本人の先生や友人、観光客に伝えられるようになれば、授業で学んだことが使える知識となる。それは、会話だけでなく、ブログや SNS などに意見を書くといった行為にもつながっていくだろう。特にタイの学習者の場合、日本人の先生や留学生、観光客と接する機会も多いのではないだろうか。こういった活動を取り入れ、漢字を使ってみる授業が増えていくことを期待したい。

5. 今後の課題

ワークショップという性質上、偶然近くに座っていた参加者とグループを組み、何の準備もな
いまま漢字指導のための教室活動を考え、ポスターに仕上げていくことは仕方のないことである
が、通常の授業準備に思いをはせてみると、参考資料もないまま、準備を進めていくことは考え
にくい。しかし、漢字指導のための教室活動の場合、参考となる資料や書籍があまりないことか
ら、担当教師がゼロから考えることも少なくない。特に海外の先生たちにとって、日本の生活を
想像しながら教材に練り上げていくのは大変なことだろう。今後は、今回のようなワークショッ
プを重ねて行い、教室活動作成のヒントとなるような資料集の作成が急がれる。

注

- (1) JF Can-do は、日本語のコミュニケーション言語活動 (communicative language activities) を
15 のトピック別に記述しており、表 1 は「みんなの「Can-do」サイト」(参考文献 1) に掲
載されている。
- (2) 「活動目標」は参考文献 2 の pp.12-13 を参考にし、参加者に説明した。

参考文献

- 1) 国際交流基金「サイトの使い方」『みんなの「Can-do」サイト』
<https://jfstandard.jp/cando/about/glossary/ja/render.do#Topic> (2013年4月19日現在)
- 2) 国際交流基金『JF 日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック[第二版]』
http://jfstandard.jp/pdf/jfs2010ug_all.pdf (2013年4月19日現在)
- 3) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵理子 (2010) 『Basic Kanji Book』 vol.1、凡人社
- 4) 加納千恵子・清水百合・竹中弘子・石井恵理子 (2009) 『Basic Kanji Book』 vol.2、凡人社

謝辞

ワークショップ当日、会誌に成果物を転記させていただくことについて、ご参加いただいた皆
様にご同意いただきました。ここに感謝の意を表します。

